



射水市立東明小学校 学校だより

東明っ子

第7号

令和3年7月21日

いよいよ夏休みが始まります！

いよいよ子供たちが楽しみにしている夏休みが始まります。

4月6日の始業式から73日間の1学期が今日で終わります。学校は新型コロナウイルス感染症予防を十分に考えながら、知恵を出し合い、子供たちのために少しでもできることを行ってきました。少しずつ日常が戻りつつある1学期だったと思います。そして、コロナ禍の中、臨時休業がなかったことが何よりの幸いです。子供たちと共に学び、共に活動できたことを本当にうれしく思います。子供たちがいてこそこの学校です。子供たちの明るい声が響き渡る学校はやっぱりいいものだと思えました。しかしながら、まだまだ予断は許されません。8月27日（金）から始まる2学期以降もこれまで同様感染拡大防止を意識した学校生活を工夫していかなければならないものと思います。



さて、夏休みは家族の一体感を図る絶好の機会だと言われています。ただ、いろいろな所へ出かけることはなかなか慎重にならざるを得ないかと思えます。そして、熱中症も心配となります。東京オリンピックをご家庭で子供たちと観戦するのも一考かと思えます。夏休みの過ごし方の結果は、2学期からの学校生活に大きな影響を与えとも言われています。夏休みの過ごし方を工夫してみてください。有意義な夏休みとなりますようお願いします。

学習のまとめ・通知表を励みに！！

暑い中、そして忙しい中、保護者懇談会に出席いただき誠にありがとうございました。担任より渡された通知表は、昨年度より、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で評価しています。



日々の学校生活では、通知表で書き足りていない子供たちの個々の頑張りもたくさん見ることができました。ぜひ、子供たちの学習意欲を喚起し、2学期からの励みになるようお子様と一緒に通知表をもとに話し合ってくださいと思います。

保護者の皆様には、コロナ禍の中、様々な対応をお願いした1学期ではありましたが、学校の教育活動にご理解とご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

4・6年 図画工作科 制作活動

6月24日に4年生が図画工作科で、シーサーづくりに挑戦しました。シーサーとは、沖縄に古くから伝わる守り神。その元をたどると紀元前のスフィンクスにまでさかのぼるとも言われています。名前はシーサーの原型となった獅子(しし)が沖縄の方言によって、シーサーと言い換えられたことに由来するといわれています。粘土をこね、顔の形の作り方などを教えてもらいながら、一生懸命に思い思いのシーサーを作りました。素晴らしい出来映えです。

7月13日には、6年生が体育館でランプシェードづくりを行いました。体育館で暑い中、友達と助け合いながら、形を整えていました。9月の出来上がりが楽しみです。



4年生のシーサーづくり



6年生ランプシェード

～薬物乱用は絶対にダメ！～



病気やけがを治療する医薬品等、私たちは日頃いろいろな薬の世話になっています。薬は正しく服用すれば大切なものです。

7月6日(火)に射水市保護司会 会長 谷川 義昭様はじめ射水市保護司4名の方々に来校いただき、6年生を対象にした「薬物乱用防止教室」を行いました。まず、『薬物乱用はダメ。ゼッタイ』のDVDを視聴しました。ここでは、「違法薬物を乱用すると体にどのような影響を及ぼすか」や「違法薬物の種類にはどのようなものがあるか」、「違法薬物はなぜ止められないのか」などを学びました。

次に、谷川様からさらに詳しい話を聞きました。「違法薬物を乱用すると心も体もダメになってしまう。特に脳への損傷が大きい」などを説明され、特に印象に残ったのは市販の風邪薬でも大量に摂取すると、体に悪い影響を与える。また、SNS等に「たくさん飲むと気持ちがよくなる」というデマによって飲んで体を壊したという恐ろしい話でした。



違法薬物は、中学生や高校生でも簡単に手に入るということも聞きました。小学生だから安全だということではなく、この機会に薬物乱用は絶対にダメだという強い意識をもってほしいと思いました。

(校長 阿尾 昌 樹)